

1. 『寝ても覚めても市民活動』

の日々

～早瀬 昇
これまでの
人生の
歩み



こんな本を 出しています

2010年
大阪ボランティア協会発行

社会の様々な事柄から「食欲に」市民活動論を導く、独特の「視点」が35本。

ミーティングや講座を受けた後など、もう少し市民活動に思いを巡らせたいと感じた時に手にとって貰いたい一冊。



0. 北爆！ベトナム戦争で社会で意識

・1965年2月(10歳) 米軍、「北爆」を開始

←B52による無差別爆撃



→
枯葉剤の散布



・4月「ベトナムに平和を!! 市民文化団体連合」

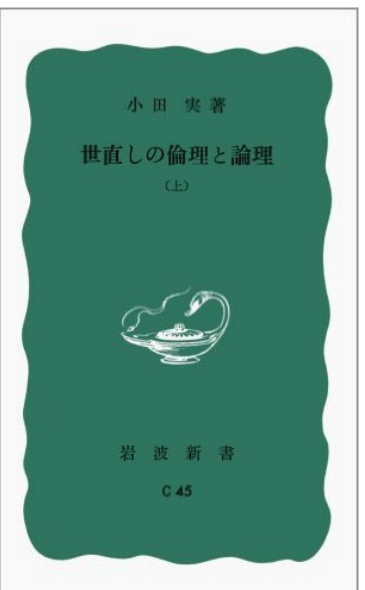
・10月「ベトナムに平和を!市民連合」に改称

1. 原点:「ベ平連」との出会い

*「ベトナムに平和を!市民連合」のユニークさ

- ・本部/支部のないフラットなネットワーク
- ・「北爆反対」の一点で結集した多様な市民が、各地で自発的・多発的に活動
- ・「言い出しっぺ」の原理…などの運動論

*『世直しの倫理と論理』を
熟読 1972年(17歳)



・大学入学目前 故小田実氏

*1973年3月 米軍撤退。ベ平連、順次解散!

2. 勘違いから始まった「活動」

- ・受験勉強から解放されたのに「ベ平連」はない！
- ・「ユックリズム」で勘違い!! ~新聞記事の案内に反応説明会に出向いてしまい…。
- ＊勘違いで出会った「大阪交通遺児を励ます会」
(創立者は後の代議士・参院議員、故山本孝史氏)
- ・マスコミ等との接触も増える
~取材を受けての感想は「社会を動かしている！」
- ・「もう解散」となった時に ~勝手に「責任」=自身に「応える力 response-ability」=があると感じる



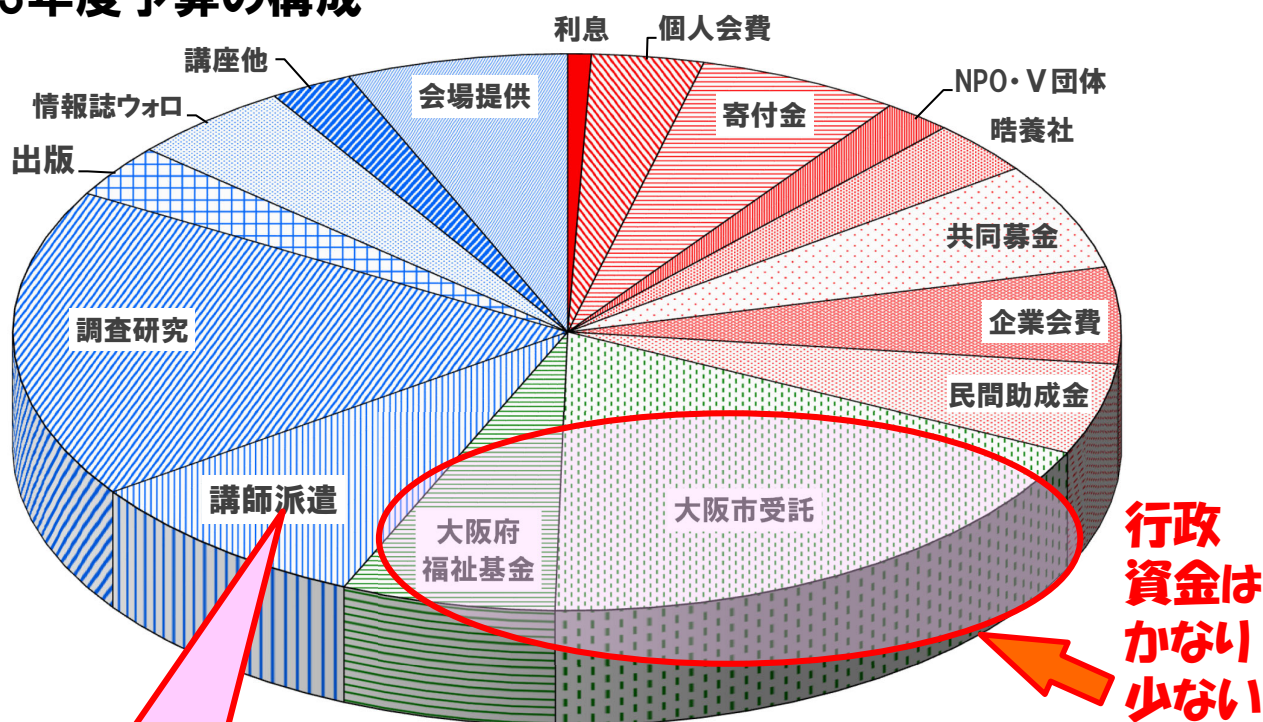
3. 参加で築かれた市民活動の拠点

- ・大阪交通遺児を励ます会の活動拠点が**大阪ボランティア協会**
(ベ平連と同じ1965年創立)
- ・日本初の「ボランティア講座」開講(講座の最初のコマは「ボランティア活動と民主主義」)。民設市民活動推進拠点を支えるのは多くのボランティアスタッフの運営&経営参加。
- ・多様な市民団体と出会い、様々な活動に参加。



★ 大阪ボランティア協会の財源構成(総額8,009万円) ★

2023年度予算の構成



実は私は「鵜飼の鵜」

4. 「広場」として、「砦」として

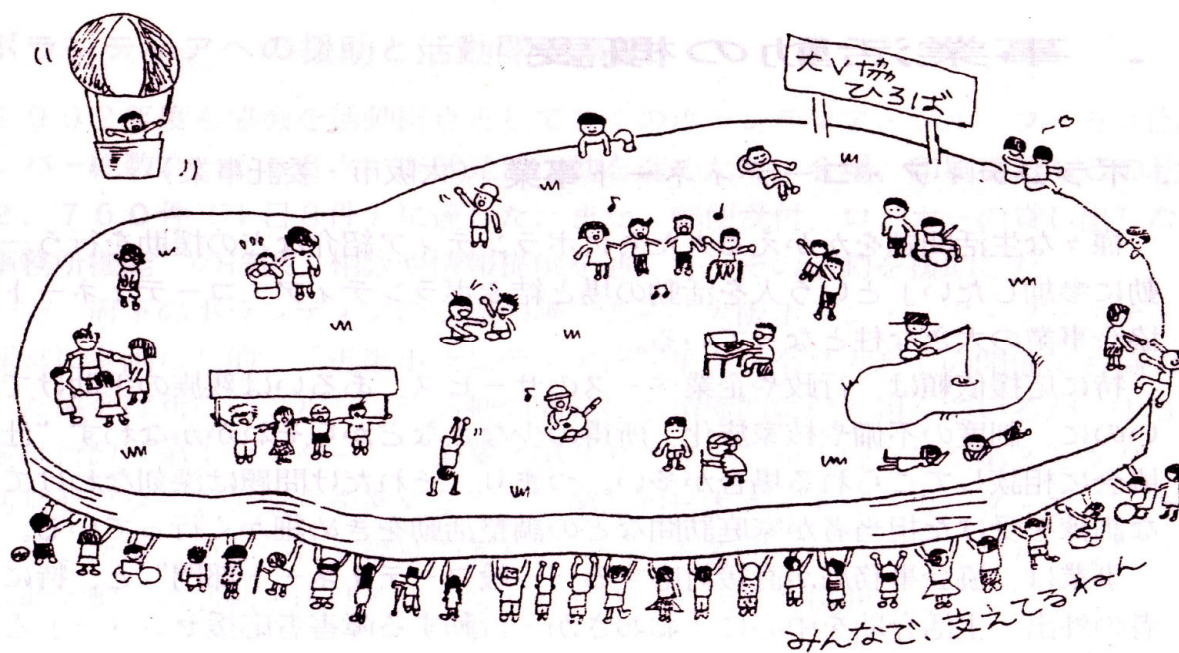
「広場としての役割」

取り組む活動が異なったり、世代や立場も違う人々が自由に集える—排除しない—「広場」となること。気づき、出会い、激励、協働の場。
(インクルーシブ、撥ね返さない)

「砦としての役割」

市民が自由に活動を進める拠点となる。
市民の手による自治的経営。財政自立を基盤とした運営面での自由確保。「参加システム」。

4. 「広場」として、「砦」として



大阪ボランティア協会の事業報告書で1992年度まで掲載

こんなこともありました。1977年2月(22歳)のある日…

大阪は日本で最初(1980年11月)に、地下鉄にエレベーターが設置された街です。その背景に当事者と市民の努力がありました。



※ 岡本先生、行政の忖度要請に説教 !!

・「誰でも乗れる地下鉄をつくる会」での経験

1980年11月 大阪市営地下鉄 谷町線・喜連瓜破駅に、
日本初のエレベーター設置…にいたるプロセスは…

・自重を働きかけてきた 大阪市の福祉担当者に説教！ 市民の運動を守る

・「愛情の反対は憎悪では ない。無関心である」 (マザーテレサ)の意味



岡本榮一 先生
(元 大阪ボランティア
協会 理事長、現顧問)



※ 私的体験から見た「参加」が進む鍵

・単発イベントなど、入しやすい「入口」

～ 参加自体は、偶然の要素も

・自身の「存在感」を感じられる体験

～ 「そうだね」流行の訳。活動への“正”のリアクション

・「世界」の広が

～ 当事者、マスコミ、全国の活動家…との出会い

・参加の「階段」を上げる体験

～ いつでも、どこでも、誰でも、気軽に楽しく(広がれ
ボランティアの輪連絡会議のスローガン)の **次の段階へ**



5. 欧州経由で「大ボラ協」に就職

- ・「一度しかない人生」。大阪ボランティア協会に就職を打診するも、「雇う余裕なし」と断られる。偶然、フランス・ベルギーの障害者施設へ。
 - ・欧州から再度の就活。
 - ・理科系の私が大阪ボラ協に就職したら、父親が激怒！！
- その時、母親が言ったのが…
「お父さん、あきらめなさい。
お地蔵さんになったと思って…」



6. 大阪ボランティア協会での仕事

- ・「ボランティア悪魔祓い講座」の開講
- ・「バリバリ元気天国」(当初は青少年V大会)の開催
- ・「企業市民活動推進センター」の開設
- ・「全国ボランティアコーディネーター研究集会」の開催
- ・日本初の「災害ボランティアセンター」の開設
- ・NPO法制定への取り組み
- ・日本NPOセンター、日本ボランティアコーディネーター協会などの創設 など



※ 「ボランティア＝恋愛論」の提唱

★ ボランティア活動は恋愛に似ている

- ① 自発的な**無償**の行為
- ② 対象を**選べる**
- ③ **好き**であることが選択の重要な基準となる
- ④ “機能”以上に“**存在**”に**意味がある**関わりである
- ⑤ **出会い**は**偶然**によるところが多い
- ⑥ しんどいこともあるが**自分自身も元気**になる活動
- ⑦ 自分が満足するだけでは、うまくいかない
- ⑧ 止める時、別れる時が辛く難しい
- ⑨ **心移り**をすることがある …

★ 違うのは、「開いている」か「閉じている」か

